

◆ 2030年の君たちへ ◆

本校の探究学習への取組については、これまでもこのメッセージで度々紹介してきた。

昨年10月の授業公開日には、茨城南青年会議所・取手市役所の皆さんのお力添えもいただきながら、「対話」のある主体的な学びに繋げることができたと考えている。

手元に、現在2年生になった彼らが1年間取り組んだ「総合的な探究の時間」振り返り集計結果がある。

「社会人の方のお話を聞いて、社会に出て働いていくことがどれだけ大変なのかということを身に染みて感じる事ができた。」

「（前略）地域とSDGsの関連性を考えることは、将来別の物事に対しても使うことができそうだな（後略）」 本中にいろいろな意見が載っている。

ところで、このSDGs。達成期限は2030年である。ゴールまでそれほど長い時間でもない。こんな中、昨年もお世話になった茨城南青年会議所が主催（県教委ほか後援）する「SDGs－1グランプリ」に本校生のグループが数多くエントリーした。テーマは様々。「女性も働きやすい環境を作る」、「古着のリサイクル」、「藤代駅を発展させる」等々。

うれしいことに多くのグループが入賞し、またグランプリ（1位）も獲得することができた。

グランプリを獲得したグループのテーマは「高校生が変える未来へのフードロス削減プロジェクト」というもの。

メンバーの一人であるK君が、小学校・中学校とこの話題に関心を持ち続けていたことを、過日開催した文化祭（藤朋祭）で聞いていた。

彼がポスターセッションの際に話してくれた、側溝にうち捨てられる様々なゴミの写真を思い出す。何としても解決したいという、この分野に懸ける強い思いを感じる。

さて、この取組は今月以降更に精査され、10月に青年会議所で実践に移していくという。どんな形になるか、今から楽しみに待とう。

